

成人看護学演習 I

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 特任准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 6時間 演習 16.5時間
期間	前期		
単位数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

演習やグループワークを通して、成人期における健康障害をもった対象者の経過事例を用いて問題解決能力を養い、対象の状況にあった適切な看護技術や看護援助の実際を体験により学ぶ。また、学修した知識を看護実践に統合し活用する力を身に付ける。

・教育成果（アウトカム）

1. 慢性疾患をもつ人と家族の特徴を習得する。
2. 慢性疾患をもつ人を看護するうえで必要な概念・理論を理解できる。
3. 慢性疾患をもちながら生きる人と家族のセルフマネジメント及び生活の立て直しに必要な看護援助を理解する。
4. 事例を通して具体的な援助の方法を計画・立案することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4

・到達目標（SBO）

1. 慢性の病とともに生きる人々とその家族を包括的にアセスメントする方法を考案できる。
2. アセスメントを統合して対象の全体像を理解し看護問題を明らかにすることができる。
2. 成人期の慢性疾患患者の看護問題に対して看護目標を設定し看護過程の展開ができる。
3. 糖尿病患者の看護に必要な看護技術（血糖測定・インスリン注射・フットケア）を理解し指導のもと実践できる。
4. 成人を対象とした健康教育の方法を学び、ケアにいかすことができる。
5. がん緩和ケアを必要とする人々と家族に対する看護援助について考察できる。

・授業日程

(矢) 東 2-B 講義室、(矢) マルチ 2-A 実習室、(矢) マルチ 2-B 実習室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
6/14	木	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	慢性期にある人への看護援助 ・慢性期患者の QOL、セルフケアの支援について説明できる
6/14	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	慢性期にある人への看護援助 ・行動変容を促す支援、自己効力感・エンパワーメント・行動変容を促す支援について説明できる
6/19	火	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	生涯にわたるセルフマネジメント患者 ・教育・成人学習論・セルフマネジメントを促す支援について説明できる
6/19	火	4	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	終末期における患者・家族への看護援助 ・患者・家族の意思決定支援について倫理原則をふまえて考察できる

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
6/21	木	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授 横田 眞理子 特任講師 藤澤 純子 助教	看護過程の展開 事例展開 ・指示された事例を通してアセスメント・看護上の問題点が見える
6/21	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授 横田 眞理子 特任講師 藤澤 純子 助教	看護過程の展開 ・提示された患者のアセスメントができ関連図が作成できる

6/26	火	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授 横田 眞理子 特任講師 藤澤 純子 助教	関連図の作成 ・提示された患者の看護計画立案と実践方法について考えることができる
6/26	火	4	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授 横田 眞理子 特任講師 藤澤 純子 助教	看護計画の立案 ・問題の明確化、優先順位が理解でき実践方法について看護計画を立案できる
6/28	木	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授 横田 眞理子 特任講師 藤澤 純子 助教	終末期の看護過程 ・終末期にある患者・家族の全体像を捉えアセスメントできる
6/28	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授 横田 眞理子 特任講師 藤澤 純子 助教	終末期の看護過程 ・患者・家族の問題点を抽出し、関連図を作成できる
7/3	火	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授 横田 眞理子 特任講師 藤澤 純子 助教	終末期の看護過程 ・問題点の優先順位が理解でき看護計画を立案できる
7/3	火	4	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授 横田 眞理子 特任講師 藤澤 純子 助教	患者教育ロールプレイ ・行動変容に結び付く患者教育の方法をロールプレイを通して学ぶことができる
7/3	火	5	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授 横田 眞理子 特任講師 藤澤 純子 助教	糖尿病看護の実践 ・安全に血糖測定ができ、その結果をアセスメントできる ・インスリン自己注射が根拠に基づいて実施できる

7/5	木	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授 横田 眞理子 特任講師 藤澤 純子 助教	フットケア演習 ・対象の様子を観察しながら、足浴が根拠に基づいて実施できる ・足のアセスメントの説明ができる ・足の観察、爪甲周囲の確執の取り方、爪切り爪へのやすりのかけ方が安全に指導のもと実践できる
7/5	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授 横田 眞理子 特任講師 藤澤 純子 助教	慢性疾患患者の事例による看護過程・事例発表会 ・事例を通して具体的な援助の方法を計画・立案し看護問題に対して看護目標を設定し看護過程の展開ができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学テキスト NICE 成人看護学 成人看護学概論 改訂第2版	林直子ほか編集	南江堂	2014
教	系統看護学講座 別巻 緩和ケア 第2版	恒藤暁 内布敦子編集	医学書院	2014
教	系統看護学講座 別巻 がん看護学 第2版	著者代表 小松浩子	医学書院	2017
参	成人看護学 成人看護学概論 第2版	大西和子・岡部聡子	ヌーヴェルヒロカワ	2009
参	成人看護学 慢性期看護論 第3版	鈴木志津子・藤田佐和	ヌーヴェルヒロカワ	2014

・成績評価方法

1.定期試験 80% 2.演習への取り組み 20%の合計100%で評価する。

・特記事項・その他

【事前学修内容及び事前学修時間】

シラバスに記載されている授業内容及び到達目標を確認し、教科書で予習したうえで授業に臨むこと。（各授業については最低30分の事前学習を要する）成人看護学で学ぶ範囲は広い範囲に及びます。病態生理で学んだことを振り返りながら授業に臨んでください。

グループワークでは、自分の考えを整理して、相手に伝えたりメンバーの考えを知る機会となります。積極的に参加して学びを得てください。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

レポートの課題は、適宜コメントし返却する。演習の評価は評価表に基づき、後日学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表3）：専門分野Ⅱ 成人看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影
演習	グルテストネオアルファー	30	血糖測定演習
演習	ファインタッチ（テルモ）	3箱	血糖測定演習
演習	グルテストネオセンサー	3箱	血糖測定演習
演習	ジェントレット	30	血糖測定演習